

## 情報のプロはこう読む！新聞の正しい読み方(第4回)

### ネットユーザーこそ「紙の新聞」を読もう(下)

2018.10.25



紙の新聞の場合、あるニュースが掲載される面やその位置、見出しの大きさなどを見ることで「その新聞社にとってのニュースの優先順位」がはっきり分かります。

例えば政治家や官僚、教師の読者が多い朝日新聞で大きく取り上げられるニュースは、そうした層が関心を持っているものです。ビジネスパーソンがよく読む日経新聞のニュースの価値付けを見れば、企業人の世の中の見方が分かってきます。産経新聞なら保守層の考え方を理解する助けになるでしょう。

一方、ネットはどうでしょう。ぜひ一度、同じ日の新聞紙面、新聞社のサイト、ヤフーニュースなどのキュレーションサイトを同時に見比べてください。ネットでは新聞に比べ、「たくさんクリックが稼げそうなニュース」が目立つ位置を占めていることに気付くでしょう。具体的には芸能、スポーツ、ネット関連のニュースが圧倒的に多いはずです。

もちろん社会問題や政治経済のニュースも出ています。しかし、ほとんどの場合、報じられるのは「法改正が決まった」「新しい制度が導入される」といった、大きな節目だけです。

この点、新聞はそうした政策の構想が浮上し、それを巡ってさまざまな集団の駆け引きが起き、利害調整を経て決まるまでの長い過程を報じます。ネットに流してもクリックは稼げませんが、社会のキーパーソンは強い関心を持っているからです。

よく、大きな制度変更があったときに、「そんなの知らなかった」「マスコミはこれまで報じてなかったじゃないか」という声を聞きます。しかし、その多くは新聞紙面では半年、1年前の構想段階から報じられている内容です。テレビやネットを見ていると分からないだけで、新聞を読めば、けっこう細かい経過が載っているものなのです。

若手ビジネスパーソンが新聞を勧められるわけ… 続きを読む